

# Ⅲ．事業計画

(2023-2024年度)



世界に希望を生み出そう



## 2023-24年度RI会長テーマ Create Hope in the World 世界に希望を生み出そう

2023 - 24年度国際ロータリー会長  
ゴードンR.マッキナリー  
サウスクイーンズフェリー RC (スコットランド)

私達は、絶妙なタイミングでリーダーシップの手綱を渡されました。今は歴史的な時であり、ロータリーが世界の注目を集め、現在の期待をはるかに超えた可能性への道を示す機会が訪れています。しかし私達の最も優れた仕事のいくつかは、他の人達の継続的な取り組みをサポートすることであるかもしれません。全てのロータリーリーダーの仕事の多くにおいては、継続が重要となります。継続とは、以前のリーダーたちのよいアイデアを前進させることを意味します。

過去数年間、ロータリーに力を与えると約束し、それを実行してきたことで、ロータリーアクターたちは全面的なパートナーとなるだけでなく、リーダーとなる熱意を示すことで、私達を勇気づけています。

継続のもう一つの優れた例に、女兒のエンパワメントがあります。世界中の少女が強く、十分な能力を身につけた女性へと成長できるよう支援するために、この仕事を引き継いでいきます。

私はまた、多様性、公平さ、インクルージョン（DEI）を促進するためにロータリーが遂げてきた全ての進歩を全面的にサポートしたいと考えています。DEIを全面的にサポートすることは、単に会員数を増やすことを意味するわけではありません。DEIの最も重要な側面は、ロータリーを、最高の人材、最高のアイデア、最高のパートナーシップを受け入れるオープンでインクルーシブな組織にすることです。

継続には、他にも2つのテーマがあり、これらは皆さんの活動にとって極めて重要となります。ひとつめがポリオです。ポリオの根絶は依然としてロータリーの最優先事項です。「ポリオのない世界」という夢を追い続け、多くのことを成し遂げてきたこの35年間で、私達は誇りとすることが出来ます。ビル&メリンダ・ゲイツ財団からの上乗せを全額得るために最低5,000万ドルを集めることがいかに重要であるかを毎年繰り返し言われたら、疲れるのも無理もないと承知しています。今、私達に必要なのは、さらなる挑戦かもしれません。現在、ポリオ根絶キャンペーンに寄付しているロータリー会員は約12人に1人に過ぎず、毎年寄付しているクラブも5分の1を下回っています。

行動計画のうち、皆さん全員に暗記してほしいと思う部分があります。それは以下のビジョン声明です。「私達は、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」。行動計画を受け入れ、実行するための現実的な方法をクラブに提供することこそが、地域社会で持続可能な変化を生む最善の方法です。

このビジョンを実現させる二つの具体的で有望な方法に重点を置きたいと考えています。

ひとつは、平和にさらなる主眼を置くことです。ロータリーを創始し、築いてきた先人たちは、ロシアが始めた残忍な戦争に直面するウクライナの人びとのために過去1年間に私達が行ってきた懸命な支援活動を、きっと誇りに思うでしょう。ウクライナで大勢が入会し続けていることは、入会と会員の参加促進について大切なことを示唆しています。しかし、ウクライナ人にとってもロシア人にとっても、平和が実現するまでは本当の安らぎは訪れないことは明らかです。同じことが、イエメン、アフガニスタン、シリア、そして世界の数十の紛争地域にも当てはまります。

平和とは、希望が根づくための土壌です。

ロータリーでは、平和は受動的な夢ではなく、懸命な活動、築かれた信頼、そしてしばしば難しい対

話の結果として生まれるものです。平和は粘り強く、勇敢に実践しなければなりません。人類が立てることのできる最も勇敢な目標は、平和の追求です。ロータリーでは、全ての重点分野にわたる全活動が、希望を築く一助となり、それによって平和と償いが可能となります。

2006年、私はタイのバーン・タリングチャン村を訪れた時、2004年末の津波で夫、娘、息子を失った女性から美しい貝殻をもらいました。彼女は、地域社会を建て直すロータリーの活動のおかげで前向きな気持ちを取り戻し、希望が与えられたと言いました。また、私は長年その作品を愛し、収集してきたスコットランドの最も偉大なアーティストの一人、ジョン・ロウリー・モリソンさんがよく使う色を選んで、世界の色を反映させ、次年度にロータリーが注力すべきことを反映させたいと思いました。このタイの女性との思い出と選んだ色から、私はテーマが何であるべきかに気づき、2023-24年度テーマは「世界に希望を生み出そう」としました。

新型コロナウイルス流行の結果として、これまで以上に多くの人々が傷ついています。多くの人が身近な人を失ったり、社会的つながりを断たれたりしています。分裂が広がり、つながる機会が失われています。最も傷ついている世代のひとつが、教育や対人スキルを身につける機会が妨げられた子どもや若者です。さらに悪いことに、世界の多くの地域では、助けを求めること、特にメンタルヘルスの助けを求めることは弱さであると考えられています。しかし、助けを求めることは勇気ある行動であり、幸せへの道を求めることは、さらに勇気が要ることです。

次年度の私達の計画は、世界に平和にもたらし、紛争の影響を受けた人々を癒すこと、そして、私達自身の内面的な闘いと向き合うために、お互いと地域社会を支え、助けを求めることに対する社会的な偏見をなくすことです。

これらの活動全てにおける目標は、破壊的な紛争から世界が立ち直れるように、希望を取り戻すことです。そうすれば、私達自身のために持続可能な変化をもたらすことが可能となります。ロータリーは、平和、機会、生きる価値ある未来の土台を築いています。私達が得意とすることを継続すると同時に、変化に対してオープンで前向きになり、世界と自分自身の中に平和を築くことに力を注げば、ロータリーはより平和で、より希望のある世界を築く手助けができます。

(2023/1/9、ゴードンR.マッキナリー氏テーマ講演より抜粋)

#### ～略歴～

エディンバラの王立高校とダンディー大学で学び、口腔外科の大学院学位を取得。2016年までエディンバラで自身の歯科医院を経営。英国小児歯科学協会のスコットランド東部支部会長を務めたほか、さまざまな教育的役職を歴任。また、長老会のリーダー、クイーンズフェリー教区会衆派教会理事会の会長、スコットランド国教会総会のコミッショナーも務めた。

1984年、26歳でロータリーに入会。South Queensferry（サウス・クイーンズフェリー）ロータリークラブに所属し、グレートブリテンおよびアイルランドの国際ロータリー（RIBI）の会長と副会長、RIの理事と委員会メンバー（2022年ヒューストン国際大会委員会アドバイザー、運営審査委員長など）を務めた。

英国を拠点とする非営利団体「ホープ・アンド・ホーム・フォー・チルドレン」の後援者であり、同団体とRIBIとのパートナーシップを先導して、ルワンダ大虐殺によって孤児となった子どもたちを支援。開発途上国の人びとや家族、ビジネスに持続可能な人道支援を提供するGrantham Kestevenロータリークラブ（英国リンカンシャー）のイニシアチブ「Trade-Aid」も後援しているほか、国立の精神保健機関であるBipolar UKのアンバサダーを務めている。

ロータリー財団は「ロータリーの奉仕を動かす燃料」であるとし、妻ヘザーさん（ロータリアン）とともにポール・ハリス・フェロー、メジャードナー、ロータリー財団のベネファクター、遺贈友の会員となっている。



## ガバナーから地区の皆様へ

国際ロータリー第2710地区  
2023 - 24年度ガバナー 井内 康輝

新年度のスタートに向けて、すでにクラブ会長・幹事の皆様にはPETS、地区研修・協議会および各グループでのガバナーエレクトを囲む会などにご参加いただき、クラブ運営の検討・準備をすすめられていることと存じますが、ここに改めて、皆様に新年度のRI会長テーマ、ガバナー信条をお伝えし、クラブ会員全員でクラブの活発な運営に取り組んでいただきます様、お願い致します。

### ○2023-24年度 ゴードンR.マッキナリー RI会長テーマ

「Create Hope in the World」(世界に希望を生み出そう)

### ○2023-24年度 RI年次目標

1. ローターアクトクラブの活性化
2. 女児のエンパワーメントの強化
3. DEI (多様性、公平さ、インクルージョン) の推進
4. ポリオ根絶活動の継続
5. メンタルヘルスへの取組み

### ○2023-24年度 ガバナー信条と地区運営方針

ガバナー信条「平和の種をまこう!! ~ロータリアンにできること~」

1. 各クラブでの奉仕活動の推進—RI会長テーマ、ガバナー信条にそってロータリークラブの行ってきた奉仕活動は全て、地域に希望をもたらし、平和の種となっています。奉仕活動はクラブ内のRLIで考え、クラブの実情に合わせて計画し、地区補助金やグローバル補助金の導入も考えながら実行して下さい。
2. RIの行動目標のひとつである“会員の基盤を拡げる”ための取組み
  - ①会員の増強 (地区全体で3,200名の会員を維持)
  - ②女性会員の増加
  - ③新クラブの結成 (衛星クラブなど)
3. マイロータリーの利用とロータリー賞へのチャレンジ  
マイロータリーの登録割合を各クラブで80%以上にする  
クラブセントラルにクラブの目標を入力する
4. ロータリー財団への支援  
年次基金: 150ドル以上/クラブ会員1人当り  
恒久基金: ベネファクター1名以上/クラブ当りまたは1,000ドル以上/クラブ当り  
ポリオプラス基金30ドル以上/クラブ会員1名当り
5. 米山記念奨学会への支援  
16,000円以上/クラブ会員1人当り  
賛助会 (3,000円/年) への入会
6. ロータリーカードの利用
7. 規定審議会、決議審議会への提案

## 2023 - 24年度ガバナー 略歴

|          |                         |                                  |
|----------|-------------------------|----------------------------------|
| 〔氏 名〕    | 井内 康輝（いない こうき）          |                                  |
| 〔所属クラブ〕  | 広島南ロータリークラブ             |                                  |
| 〔生年月日〕   | 1948年 8 月 7 日           |                                  |
| 〔職業分類〕   | 医学研究                    |                                  |
| 〔学 歴〕    | 1974年 3 月               | 広島大学医学部医学科卒業                     |
|          | 1978年 3 月               | 広島大学大学院医学研究科修了                   |
| 〔職 歴〕    | 1990年 5 月               | 広島大学医学部教授                        |
|          | 2002年 4 月               | 広島大学大学院医歯薬学総合研究科教授               |
|          | 2002年 4 月               | 広島大学医学部長                         |
|          | 2012年 4 月               | NPO法人総合遠隔医療支援機構理事長（現在に至る）        |
|          | 2014年 4 月               | 株式会社病理診断センター代表取締役社長（2022年 8 月まで） |
|          | 2018年 4 月               | ひろしま病理診断クリニック院長（現在に至る）           |
| 〔主な公職〕   | 2006年 5 月               | 環境省、石綿健康被害判定部会専門委員（現在に至る）        |
|          | 2008年 4 月               | 厚生労働省、石綿確定診断委員会委員（現在に至る）         |
|          | 2012年10月                | 広島市教育委員会委員（現在に至る）                |
| 〔ロータリー歴〕 | 1993年 9 月               | 広島南ロータリークラブ 入会                   |
|          | 2005-06年度               | 広島南ロータリークラブ 幹事                   |
|          | 2010-11年度               | 広島南ロータリークラブ 副会長                  |
|          | 2012-13年度               | 広島南ロータリークラブ 会長                   |
|          | 2013年 5 月               | ロータリー世界平和フォーラム 幹事                |
|          | 2013-14年度               | 国際ロータリー第2710地区、ガバナー補佐            |
|          | ベネファクター                 |                                  |
|          | マルチプル・ポール・ハリス・フェロー（6回）  |                                  |
|          | ポール・ハリス・ソサエティ           |                                  |
|          | 第3回 マルチプル米山功労者          |                                  |
|          | 2013-14年度 地区功労賞（ガバナー補佐） |                                  |
|          | 2016-17年度 地区ロータリー財団功労賞  |                                  |



## 会 長 挨拶

2023 - 2024年度 広島東南ロータリークラブ

会長 柄 博治

2023-2024年度国際ロータリー会長のゴードン R. マッキナリー氏は、今年度のテーマとして「世界に希望を生み出そう」を発表しました。このテーマにつきましては、ここ数年のRI会長のテーマとはやや趣が違い、具体性を帯びた3つのテーマから導きだされています。すなわち、現在、世界に広がっている紛争（ロシア・ウクライナ紛争をはじめとする）の問題、新型コロナウイルスの世界的流行によるメンタルヘルスの問題、さらにはここ数年、世界で再発しているポリオ根絶活動へのさらなる取り組み等です。

また、今年の2710地区ガバナーの井内康輝氏は、本年度のガバナー心情を「平和の種をまこう!!～ロータリーアンにできること～」とされております。、

これらを鑑み当クラブの今年度の取り組みとしては、テーマを「今を大切に、未来を探ろう」とさせていただきます。過去3年間、私たちは日本の戦後初めてとも言えるウイルスの大規模感染大流行を経験し、戦後、経験しなかった例会中止という状況を経験しました。そのためロータリー活動を表現する言葉として使用されている「Enter to learn, Go force to serve」を中断せざるを得ない状況に陥りました。今年度新型コロナがどの程度収束するかは不明ですが、少なくとも長年にわたり築かれてきた通常のロータリー活動ができる状態にできるだけ早く戻し、今を大切にすることが重要です。それと同時に近い将来また同じような状況が発生する可能性に備えて、この3年間の経験をもとに私たちのロータリーがいつでも試練を乗り越えられるような準備を探りつつ、未来に向けて今までの経験を検証してさらにロータリー活動を進化させることも必要です。その準備の1つとして、有事の時にクラブ活動が中断することなく継続できるシステムを構築することができればと考えます。具体的にはクラブ会員が確実にいつでも連絡の取れる体制にできるよう、現在の通信方法に加えてスマートフォンなどを活用したコミュニケーションの取り組みを始める準備です。またウクライナとロシアの戦争が勃発し世界が戦争に巻き込まれ兼ねない状況を受けて、RIの会長、2710地区ガバナーの「世界に希望を生み出そう、平和の種をまこう」の発表に関しては、今まで以上に、「戦争のない平和」を世界各地から、あるいは広島から発信することが、求められているものと考えます。世界の平和への関与は、1クラブとしてできることは限られますが、今私たちのできることとして、当クラブのかかわっている被爆樹木事業支援を通しての戦争のない平和への発信の継続、特に60周年の事業としての「広島・長崎爆心地中間点上毛町＝未来につなぐ平和の架け橋」事業を引き続き継続させたいと考えます。

会員の皆様のご指導、ご協力をお願いしながら、上記の活動を進めてまいりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

### 通年経常の目標（2008.7～）

CLPに掲げられているRC強化の要素を参照しつつ広島東南RCのこれまでの歴史を踏まえ、以下のことを通年経常の目標を設定する。

- 常に会員数概ね100人の確保をはかり、世代職業を越えて親密で和気藹々とした家族兄弟のようなクラブである伝統を保持する。
- 合理的例会運営、高い出席率、早い情報伝達、電子記録の整理保存など広島東南RCがこれまで充実に努めてきたクラブ運営の伝統を保持発展させる。
- 具体的な企業経営や職能活動の現場での職業奉仕のあり方を研究する「経営研究会」を充実継続する。
- 地域社会の子供（子育てを含む）、高齢者、身体障害者など社会的弱者への奉仕活動を中心に通年経常の活動を継続する。
- パールハーバー RC、台中RCとの姉妹関係を緊密に維持し、姉妹関係のもとでの共同奉仕プロジェクトを適宜実施する。
- ロータリー財団、米山記念奨学会への支援は地区内での高い水準を維持するとともに、米山奨学生の世話クラブとして大きく貢献してきた伝統を継承し、積極的に奨学生の世話を引き受け、同時に米山奨学会を支援する。
- 支店長会員を主賓として多様な目的を持って開催している『松茸を腹一杯食べる会』、『ふぐを腹一杯食べる会』等を継続する。『郷土史文化研究会』、『RI エコー』等のユニークな内容を含む同好会の活動を支援する。



## 2023 — 24年度 ロータリー賞の目標

2020-21年度より、ロータリークラブのリーダーは、ロータリー賞の達成を目指すにあたり、ロータリークラブ・セントラルから25の目標のうち少なくとも13の目標（または全目標の51%以上）を選ぶことができるようになります。このような柔軟性が適用されたことにより、クラブにとって最も重要で達成可能と思われる目標を選ぶことが可能となります。さらに、目標の多くはロータリークラブ・セントラル内で「達成」に印をつける自己報告方式となります。

当クラブは下記の16の目標を選択しました。目標達成の為、ご協力の程よろしく願いいたします。

| 目標                  | 目標の詳細  |
|---------------------|--|
| 会員増強                | ロータリー年度末までに達成したいクラブ会員総数  |
| 奉仕活動への参加            | 本ロータリー年度にクラブの奉仕活動に参加する会員の数   |
| 新会員の推薦              | 本ロータリー年度に新会員を推薦する現会員の数   |
| 地区大会への出席            | 地区大会に出席する会員の数  |
| 地区研修への参加            | 地区で行われる研修／セミナー／協議会などに出席するクラブ委員会委員長の数   |
| 年次基金への寄付            | 本ロータリー年度のクラブと会員によるロータリー財団年次基金への寄付総額  |
| ポリオプラス基金への寄付        | 本ロータリー年度のクラブと会員によるロータリー財団ポリオプラス基金への寄付総額  |
| ベネファクター             | 遺言またはそのほかの遺産計画に財団恒久基金を指定して寄付することをロータリー財団に通知または恒久基金に1,000ドル以上を寄付して、新たにベネファクターとなる個人・夫婦の数 |
| 奉仕プロジェクト            | 本ロータリー年度にクラブが実施する奉仕プロジェクトの数  |
| インターアクトクラブ          | 本ロータリー年度にクラブが提唱する新インターアクトクラブと既存インターアクトクラブの数  |
| RYLA参加者             | 本ロータリー年度にクラブが支援するRYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）参加者の数   |
| クラブ戦略計画             | クラブにはクラブ独自の戦略計画（長期計画）があるか  |
| インターネット上の存在感        | クラブの推進用資料、ウェブサイト、ソーシャルメディアでは、最新のロータリーのロゴが正しく使われ、「世界を変える行動人」としての会員のイメージを伝えているか          |
| 親睦のための活動            | 本ロータリー年度、例会以外に親睦を目的としてクラブが実施した活動の回数  |
| ウェブサイトとソーシャルメディアの更新 | 本ロータリー年度中、最新の活動や一般の関心を引くような情報を反映させるために、クラブのウェブサイトとソーシャルメディアアカウントを月に何回更新するか             |
| クラブのプロジェクトのメディア掲載   | 本ロータリー年度にクラブのプロジェクトを取り上げるメディア記事の数  |

## 2023 — 2024年度広島東南ロータリークラブ所属委員会

### 【理 事 ・ 役 員】

|                    |       |                |       |
|--------------------|-------|----------------|-------|
| 会 長 (理事)           | 柄 博治  | 広 報 ・ 記 録 (理事) | 井原 倫子 |
| 直前会長 (理事)          | 佐野 庸子 | 奉仕プロジェクト (理事)  | 岡本 幸士 |
| 会長エレクト (理事)        | 田上 克彦 | 財団関連活動 (理事)    | 早田 良二 |
| 副 会 長 (理事)・会員増強    | 河野 宏明 | 会 計 (理事)       | 温泉川梅代 |
| 副 会 長 (理事)・クラブ管理運営 | 大井 克元 | S. A. A. (理事)  | 久保 和浩 |
| 幹 事 (理事)           | 山仲 巖  | 副 幹 事          | 見正 伸也 |
|                    |       | 副 幹 事          | 佐々木一暢 |

### 【所 属 委 員 会】

(\*印は兼務)

| 委員会          | 委員長リーダー | 副リーダー | 委 員              |                  |                 |  |
|--------------|---------|-------|------------------|------------------|-----------------|--|
| ◎会員増強委員会     | 河野 宏明   |       |                  |                  |                 |  |
| 会員増強・職業分類担当  | 尾立 道泰   | 高西 哲郎 | 岩井 正喬<br>天野 國幹*  | 菅 富誉樹<br>林 潤子*   | 古本 由美*          |  |
| ロータリー情報担当    | 佐々木 誠   | 森原 弘昌 | 谷井 智             |                  |                 |  |
| ◎クラブ管理運営委員会  | 大井 克元   |       |                  |                  |                 |  |
| 出席担当         | 角田由貴子   | 平川 勝洋 | 荻田 玲子            | 尾木 朗             | 塩崎 滋弘           |  |
| プログラム担当      | 佐々木 聡   | 高橋 心里 | 岩田 久夫            | 要田 昭治            |                 |  |
| 親睦担当         | 國司 晃    | 武士末 修 | 脇舩 賢治            | 胡 定晃             | 赤川 浩二           |  |
|              |         |       | 東影 正博*           | 平町 隆典*           | 佐柳 和範*          |  |
|              |         |       | 林 大一郎*           | 江後 潤一*           | 濱本 聖次*          |  |
|              |         |       | 三宅 正光*           | 林 潤子*            | 田野原 浩*          |  |
|              |         |       | 森脇 邦友*           | 高垣 創*            | 平岡 誠治*          |  |
|              |         |       | 古本 雄星*           | 宮内 章裕*           | 田中 康平*          |  |
|              |         |       | 越智 直紀*           | 梅本 良徳*           |                 |  |
| ◎広報・記録委員会    | 井原 倫子   |       |                  |                  |                 |  |
| クラブ会報・資料保存担当 | 石田 裕滋   | 君島 龍輝 | 長崎 清正            | 細田 正雄            | 伊藤 正樹           |  |
| 雑誌担当         | 今井 廣志   | 久保河内豊 | 村上 賢一            | 旦 康次郎            | 東影 正博*          |  |
| 広報担当         | 鹿瀬 賢二   | 若宮奈美江 | 宮内 章裕*           | 越智 直紀*           |                 |  |
| ◎奉仕プロジェクト委員会 | 岡本 幸士   |       |                  |                  |                 |  |
| 職業奉仕・経営研究担当  | 吉田 範子   | 上田 康博 | 神田 敏治<br>江後 潤一*  | 米川 晃<br>濱本 聖次*   | 品川 晃二           |  |
| 社会奉仕担当       | 河野 洋平   | 板本 敏行 | 大濱 紘三<br>古本 雄星*  | 行武 治子<br>田中 康平*  | 神辺 眞之           |  |
| 青少年奉仕担当      | 林 亮介    | 薦尾健太郎 | 岸本 秀樹<br>田野原 浩*  | 富部 秀司<br>高垣 創*   | 林 大一郎*          |  |
| 国際奉仕・姉妹クラブ担当 | 守下 康弘   | 荒木 浩幸 | 古本 由美*<br>森脇 邦友* | 天野 國幹*<br>梅本 良徳* | 佐柳 和範*<br>沖宗 正明 |  |
| ◎財団関連活動委員会   | 早田 良二   |       |                  |                  |                 |  |
| ロータリー財団担当    | 渡邊 直樹   | 中畝 將博 | 廣谷 洲枝            | 衣笠 准一            |                 |  |
| 米山記念奨学会担当    | 田中 貴    | 中脇 令子 | 土肥 雪彦            | 久行 康夫            |                 |  |

|                                 |                         |                        |                |               |               |
|---------------------------------|-------------------------|------------------------|----------------|---------------|---------------|
| ◎S.A.A.支援担当                     | 大下 達士                   | 中村 伸弘                  | 平町 隆典*         | 三宅 正光*        | 平岡 誠治*        |
| ◎監 査                            | 山下 泉                    | 吉田 信秀                  |                |               |               |
| ◎クラブ戦略委員会<br>(2017年度以降 歴代会長・幹事) | 伊藤 正樹<br>佐野 庸子<br>森原 弘昌 | 吉田 信秀<br>菅 富誉樹<br>谷井 智 | 衣笠 准一<br>大井 克元 | 米川 晃<br>佐々木 誠 | 要田 昭治<br>胡 定晃 |
| ◎創立65周年実行委員会                    | 山下 泉                    |                        |                |               |               |
| ◎被爆樹木特別委員会                      | 要田 昭治                   | 菅 富誉樹                  | 田上 克彦          | 佐々木 誠         | 守下 康弘         |
| ◎合同事務局運営委員                      | 山仲 巖                    | 見正 伸也                  | 佐々木一暢          |               |               |



## 2023 - 2024年度 広島東南ロータリークラブ

### 各部門・委員会の事業計画



#### 会員増強委員会

委員長 河野 宏明

今年度柄会長は「今を大切に、未来を探ろう」をテーマに挙げられております。新型コロナウイルスの全世界的な感染の影響で、3年の間に例会も幾度も中止になり、ロータリー活動も多大な制限を受けてしまいました。今年になって未だ感染力は強いものの重症化率はかなり低下し、少しずつ日常生活を取り戻しつつあるところだと思います。今後、ロータリー活動を進めて行く上でも、今まで以上に会員の獲得や退会防止が重要なテーマと考えられます。

会員増強・職業分類担当尾立リーダーとロータリー情報担当佐々木誠リーダーを中心に計画案を基にして会員増強に努め、ロータリークラブの情報を提供する機会を安全かつ出来るだけ多く設けて、会員資質の強化を、さらには、女性会員の獲得にも力を入れてゆきたいと存じます。

委員会のメンバーと共に、会員皆様のご理解とご協力を賜り本年度のテーマを達成するために努力してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。



#### ● 会員増強・職業分類担当



リーダー  
尾立 道泰



副リーダー  
高西 哲郎

|         |       |       |
|---------|-------|-------|
| 【リーダー】  | 尾立 道泰 |       |
| 【副リーダー】 | 高西 哲郎 |       |
| 【委員】    | 岩井 正喬 | 菅 富誉樹 |
|         | 古本 由美 | 天野 國幹 |
|         | 林 潤子  |       |

#### 〈方針〉

今年度末時点で、クラブ会員総数100名を目標として会員増強を行う。

#### 〈計画〉

1. 会長方針である「今を大事に、未来を探ろう」を実践するため会員増強が急務です。年度末のクラブ会員総数100名を目標とします。
2. オープン例会を開催し、入会予定者だけでなく、クラブ外の人が例会に参加することで、当クラブを知ってもらい入会のきっかけを作る。
3. 女性会員や40代以下の会員の入会を促進する。
4. コロナ禍で思うような活動が出来なかったことが、会員数の減少の主要因であることから、退会防止への環境づくりとしてアフターコロナを見据えて親睦担当と連携して活動を支援していく。

〈予算〉 200,000円

## ● ロータリー情報担当



リーダー  
佐々木 誠



副リーダー  
森原 弘昌

|         |       |
|---------|-------|
| 【リーダー】  | 佐々木 誠 |
| 【副リーダー】 | 森原 弘昌 |
| 【委員】    | 谷井 智  |

### 〈方 針〉

1. 新会員にロータリークラブ会員の特典と責務に関する情報を提供する。
2. 本クラブの会員拡大に伴い、入会3年未満の会員にロータリークラブの歴史、目的、活動に関する情報を共有化することを主眼とした情報提供の機会を企画設営する

### 〈計 画〉

1. 新会員の入会説明を、例会前11時30分より行う。
2. 講師：会長経験者他でインフォーマルミーティングを年4回程度、クラブ管理運営委員会と連携し開催する。

特に支社長・支店長等広島に着任された会員や入会3年未満の会員にロータリークラブの歴史・目的・活動について理解して頂くため情報提供を行う。

3. 週報などでロータリーに関する情報を提供する。
4. 入会3年未満の会員については、各種会合に積極的に参加できるよう情報提供する。

〈予 算〉 420,000円

## クラブ管理運営委員会



委員長 大井 克元

5月8日よりコロナ感染症も第5類となり、今年度は会長の方針のもとコロナ前のロータリー活動に戻し、更にそれを進化させる年度と致します。

例会への出席、例会内容の充実につながるプログラムの充実、会員相互の親睦はロータリー活動の根幹をなすものと考えております。

出席、プログラム、親睦の各担当が過去にとらわれず新鮮な発想で取り組んで会員全員の皆様の充実したロータリー活動が実現できるよう頑張っておりますので積極的なご参加を宜しくお願い申し上げます。



### ● 出席担当



リーダー  
角田由貴子



副リーダー  
平川 勝洋

|         |       |      |
|---------|-------|------|
| 【リーダー】  | 角田由貴子 |      |
| 【副リーダー】 | 平川 勝洋 |      |
| 【委員】    | 荻田 玲子 | 尾木 朗 |
|         | 塩崎 滋弘 |      |

### 〈方針〉

今年度の会長方針「今を大切に、未来を探ろう」を受け、「ロータリーは出席から」の原点を今一度念頭に置き広島東南ロータリークラブ全会員が積極的な参加が出来ることを目指します。

### 〈計画〉

1. 他の委員会と連携を図り、出席しやすい環境を作る。
2. 例会時に出席報告をし、例会出席への関心を図る。
3. クラブ会報に出席報告を記載する。
4. 連続出席者を報告し記念品の贈呈を行いその労を讃える。
5. 今年度はメイクアップが再開すると思われるので、ホームクラブに出席出来ない時は他のメイクアップの参加を勧める。

〈予算〉 300,000円

## ● プログラム担当



リーダー  
佐々木 聡



副リーダー  
高橋 心里

|         |       |       |
|---------|-------|-------|
| 【リーダー】  | 佐々木 聡 |       |
| 【副リーダー】 | 高橋 心里 |       |
| 【委員】    | 岩田 久夫 | 要田 昭治 |

### 〈方 針〉

会長がテーマとして挙げられている「今を大切に、未来を探ろう」を踏まえて、会員相互の親睦をはかり会員の今後に役立つプログラム作りに努めていきたいと思ひます。

プログラムの内容としては、新入会員の卓話並びに会員の卓話を中心に多様性のあるプログラムになるように考えています。

### 〈計 画〉

1. 新入会員の方にロータリーに早く慣れていただくために卓話をお願いいたします。
2. 既会員の方の卓話をお願いいたします。
3. ロータリー月間のテーマに基づいた卓話をお願いいたします。
4. 外部講師についても積極的に会員の皆様に役立つような卓話をお願いいたします。

〈予 算〉 350,000円

## ● 親睦担当



リーダー  
國司 晃



副リーダー  
武士末 修

|         |       |       |
|---------|-------|-------|
| 【リーダー】  | 國司 晃  |       |
| 【副リーダー】 | 武士末 修 |       |
| 【委員】    | 脇舩 賢治 | 胡 定晃  |
|         | 赤川 浩二 | 東影 正博 |
|         | 平町 隆典 | 佐柳 和憲 |
|         | 林 大一郎 | 江後 潤一 |
|         | 濱本 聖次 | 三宅 正光 |
|         | 林 潤子  | 田野原 浩 |
|         | 森脇 邦友 | 高垣 創  |
|         | 平岡 誠治 | 古本 雄星 |
|         | 宮内 章裕 | 田中 康平 |
|         | 越智 直紀 | 梅本 良徳 |

### 〈方針〉

会長方針である「今を大切に、未来を探ろう」を念頭に、親睦行事をコロナ前の状態に戻します。先輩方が築き上げてきた伝統をしっかり受け継ぎ、それを礎に、時代に応じた新たな視点を加えて参ります。

### 〈計画〉

#### 1. 例会受付

出席カード捺印

ビジター歓迎、紹介

#### 2. 親睦行事

花火大会観覧（家族会：2023年7月22日）@銀河

3RC合同例会（夜間例会：2023年9月25日）@ANA

クリスマス例会（夜間例会：2023年12月25日）@ANA

新会員歓迎例会（夜間例会：2023年1月22日）@ANA

PHRC歓迎会（家族会：2024年3月末頃）@未定

野球観戦（家族会：2024年4月頃）@マツダスタジアム

サッカー観戦（家族会：2024年5月頃）@新スタジアム

最終例会（夜間例会：2024年6月24日）@ANA

#### 3. 記念品贈呈

#### 4. 各委員会への参加

#### 5. 同好会活動への協力

#### 6. クラブ内慶弔への支援

#### 7. 委員会間でのコラボ企画（親睦会：2023年11月20日）@未定

（会員増強×ロータリー情報×親睦）

〈予算〉 5,500,000円

## 広報・記録委員会



委員長 井原 倫子

柄会長の方針「今を大切に、未来を探ろう」をもとに、当委員会はクラブの様々な活動に関しての「広報・記録」を担っていくにあたり、委員それぞれの感性と想像力を働かせながら、クラブ内外に広く情報発信し、適切な広報・記録に努めてまいります。

皆様のご協力を宜しくお願いいたします。



### ● クラブ会報・資料保存担当



リーダー  
石田 裕滋



副リーダー  
君島 龍輝

|         |       |       |
|---------|-------|-------|
| 【リーダー】  | 石田 裕滋 |       |
| 【副リーダー】 | 君島 龍輝 |       |
| 【委員】    | 長崎 清正 | 細田 正雄 |
|         | 伊藤 正樹 | 村上 賢一 |
|         | 旦 康次郎 | 東影 正博 |
|         | 宮内 章裕 | 越智 直紀 |

#### 〈方針〉

1. クラブ会報（週報）を作成し、当クラブの事業や諸活動を周知し、会員の関心を高めることにより、会員相互の親睦を深め、クラブの活性化を図り、ひいてはロータリー活動に寄与する。
2. クラブ会報及び関連資料データ等を適切に保存・管理することで、当クラブの行っている事業や諸活動の内容を着実に記録する。

#### 〈計画〉

1. クラブ会報は毎例会にて披露し、併せて例会前後の行事・予定等を同会報にてお知らせする。
2. クラブ会報は、当クラブの行っている事業や会員の実施している諸活動を幅広く紹介し、読み応えのある紙面を目指す。
3. RI会長ゴードンRマッキナリー氏の掲げるテーマ「世界に希望を生み出そう」、並びに、柄博治会長の掲げる当クラブのテーマ「今を大切に、未来を探ろう」をクラブ会報に反映させる。
4. 各例会のメインプログラムの内容はクラブ会報にて記事にする。特に会員による卓話は本人から原稿を入手し、内容に齟齬が無いようにする。
5. クラブ会報は当クラブのホームページに掲載し、会員からの閲覧を奨励する。
6. 例会や各種行事にて、極力写真等を撮影し、記録・記念として保存する。

〈予算〉 500,000円



## ● 雑誌担当



リーダー  
今井 廣志



副リーダー  
久保河内豊

|         |       |       |
|---------|-------|-------|
| 【リーダー】  | 今井 廣志 |       |
| 【副リーダー】 | 久保河内豊 |       |
| 【委員】    | 長崎 清正 | 細田 正雄 |
|         | 伊藤 正樹 | 村上 賢一 |
|         | 旦 康次郎 | 東影 正博 |
|         | 宮内 章裕 | 越智 直紀 |

### 〈方 針〉

「ロータリーの友」を会員皆様に購読していただき、国内・国外のロータリー活動状況を知っていただき、また活動報告・随筆等に触れながら会員全員でロータリー活動の意義を考える機会をつくる。

また、広島東南ロータリークラブの活動状況をロータリーの友を通じて情報発信する。

### 〈計 画〉

1. 2022年7月号より2023年6月号まで毎月発刊される「ロータリーの友」を毎月第一例会時に配布し、新会員様及び会員になられ日が浅い方中心に指名をさせていただき、指名された会員は興味を持たれた記事の紹介及び感想を取りまとめていただき、翌週の水曜日までに事務局へ提出する。
2. 提出された記事は週報に掲載します。
3. 「ロータリーの友」を各種団体等へ寄贈し、ロータリークラブへの関心と理解を深めていただく。
4. 広島東南ロータリークラブの活動内容を「ロータリーの友」へ掲載いただけるよう目指します。

〈予 算〉 25,000円

● 広報担当



リーダー  
鹿瀬 賢二



副リーダー  
若宮奈美江

|         |       |       |
|---------|-------|-------|
| 【リーダー】  | 鹿瀬 賢二 |       |
| 【副リーダー】 | 若宮奈美江 |       |
| 【委員】    | 長崎 清正 | 細田 正雄 |
|         | 伊藤 正樹 | 村上 賢一 |
|         | 旦 康次郎 | 東影 正博 |
|         | 宮内 章裕 | 越智 直紀 |

〈方針〉

会長方針「今を大切に、未来を探ろう」の方針の基、コロナ禍で停滞気味だった様々な活動が再開され、より多くの行事が予定されています。会員の多くの素晴らしい活動をクラブ内外に広く発信してまいります。

〈計画〉

1. 当クラブホームページの最大活用（委員会活動や同好会行事などの寄稿のお願い）
2. 当クラブのSNS（Facebook等）を活用した情報発信
3. 県並びに市の記者クラブへのプレスリリース活動

〈予算〉 450,000円

## 奉仕プロジェクト委員会



委員長 岡本 幸士

奉仕プロジェクト委員会は4部門で構成されており、柄会長の方針である「今を大切に、未来を探ろう」に基づき、コロナで出来なかったこれまでの継続事業や新たな事業計画を各リーダーと積極的に奉仕活動を実践いたします。特に姉妹クラブとの交流、インターアクトクラブの活動支援など人との繋がりを大切にして参りますので会員の皆様のご協力をお願いします。



### ● 職業奉仕・経営研究担当



リーダー  
吉田 範子



副リーダー  
上田 康博

|         |       |       |  |
|---------|-------|-------|--|
| 【リーダー】  | 吉田 範子 |       |  |
| 【副リーダー】 | 上田 康博 |       |  |
| 【委員】    | 神田 敏治 | 米川 晃  |  |
|         | 品川 晃二 | 江後 潤一 |  |
|         | 濱本 聖次 |       |  |

#### 〈方 針〉

クラブの今期のテーマ「今を大切に、未来を探ろう」に基づき職業奉仕・経営研究担当においては職業奉仕の理念に基く健全な経営について事例研究するなど以下の事業を行う。

#### 〈計 画〉

##### 1. 職業奉仕

- ①会員企業またはその他の企業を対象として職業訪問例会を実施する
- ②会員企業及び地域社会に貢献された優良従業員表彰を行う

##### 2. 経営研究会の充実継続

「経営」というテーマに基づき、過去3年間のコロナ禍で得た経験を検証し、今後の世界経済状況を探りながら未来に向けての経営戦略を多彩な角度から情報提供し、会員の皆様に楽しく学んでいただけるような企画の立案をする。

- ①多様な分野の講師を招聘し講演会を開催する

(検討中の講師)

- ・大東文化大学 国際関係学科教授 岡本氏 (8月希望)  
専門:「中華人民共和国の経済状況」
- ・(株)ウエストエネルギーソリューション取締役 砂原氏
- ・NTT

②会員の方々に講師をお願いし、経営哲学・人生哲学・経験談等についての講演会を実施する  
(検討中の職業分野)

- ・SDGs 積水ハウス株式会社 江後潤一会員「未来の家(仮)」
- ・AI

〈予算〉 350,000円



## ● 社会奉仕担当



リーダー  
河野 洋平



副リーダー  
板本 敏行

|         |       |       |
|---------|-------|-------|
| 【リーダー】  | 河野 洋平 |       |
| 【副リーダー】 | 板本 敏行 |       |
| 【委員】    | 大濱 紘三 | 行武 治子 |
|         | 神辺 眞之 | 古本 雄星 |
|         | 田中 康平 |       |

〈方針〉

2023-24年度のRI会長が示されたテーマは「世界に希望を生み出そう」であります。このテーマとガバナー信条を踏まえて社会奉仕活動を実施します。

〈計画〉

### 1. 地区補助金活用事業

地域の中核病院としての役割を担っている広島赤十字・原爆病院に対し、病院サービス向上の目的ため、車椅子39台の寄贈を行う。(地区補助金59万円、クラブ資金40万9730円)

### 2. 柏の実苑のクリスマス会参加の継続

### 3. 社会奉仕活動団体などへの支援

- ・広島いのちの電話
- ・子供虐待ホットライン広島

### 4. 早朝清掃の継続(パールハーバー記念樹付近)

〈予算〉 450,000円

## ● 青少年奉仕担当



リーダー  
林 亮介



副リーダー  
髙尾健太郎

|         |       |       |
|---------|-------|-------|
| 【リーダー】  | 林 亮介  |       |
| 【副リーダー】 | 髙尾健太郎 |       |
| 【委員】    | 岸本 秀樹 | 富部 秀司 |
|         | 林 大一郎 | 田野原 浩 |
|         | 高垣 創  |       |

### 〈方針〉

今年度、RI会長テーマ「世界に希望を生み出そう」、柄会長方針「今を大切に、未来を探ろう」に沿って、インターアクトクラブを中心とした青少年の活動支援並びに奉仕活動の参加を通じて、私たちも共に成長します。

### 〈計画〉

#### 1. 広島商業高等学校インターアクトクラブの活動支援

- (1) 青少年育成活動として、高校の協力を得ながら生徒主体の社会奉仕活動の支援を行う。
- (2) 毎月のインターアクトクラブ例会に出席して有意義なクラブ活動の助言を行い、会員増強の策も話し合う。
- (3) インターアクトクラブ地区大会、研修会に参加し、研鑽を重ねると共に、他校との情報交換に努める。
- (4) ボランティア活動についての社会的意義と方法論について生徒達と共に考える。
- (5) 広島・長崎爆心地中間点にある福岡県築上郡上毛町の「被爆樹木」の清掃活動を通し、平和運動の支援を行う。

#### 2. 他のインターアクトクラブとの活動支援の検討

#### 3. RYLAへの参加を通じた青少年教育に関する事業支援

#### 4. 子育て世代と子どもとの共有活動の実施

〈予算〉 550,000円

● 国際奉仕・姉妹クラブ担当



リーダー  
守下 康弘



副リーダー  
荒木 浩幸

|         |       |       |  |
|---------|-------|-------|--|
| 【リーダー】  | 守下 康弘 |       |  |
| 【副リーダー】 | 荒木 浩幸 |       |  |
| 【委員】    | 古本 由美 | 天野 國幹 |  |
|         | 佐柳 和憲 | 森脇 邦友 |  |
|         | 梅本 良徳 | 沖宗 正明 |  |

〈方 針〉

コロナ禍以前の活動継続をベースにし、新しい取り組みと意義を取り入れながら姉妹クラブであるパールハーバーロータリークラブ、台中ロータリークラブへの相互訪問に加え、特別友好クラブの仙台南ロータリークラブとの交流事業を深めてまいります。

〈計 画〉

2023年2月・5月に表敬訪問していることから、今年度はパールハーバーロータリークラブ、台中ロータリークラブの来広の予定であるため、親睦交流計画を親睦担当と連携し対応する。

仙台南ロータリークラブとの相互訪問についても検討する。

【過去の交流履歴】

2014年9月 PHRC表敬訪問  
 2015年5月 台中RC創立60周年表敬訪問  
 2016年4月 PHRC来広  
 2016年9月 PHRC表敬訪問  
 2018年4月 PHRC来広  
 2019年2月 PHRC表敬訪問  
 2020年1月 東南RC創立60周年PHRC・台中RC来広  
 2020年5月 台中RC創立65周年表敬訪問中止  
 2021年 コロナ禍により交流中止  
 2022年4月 仙台地区大会表敬訪問  
 2023年2月 PHRC表敬訪問  
 2023年5月 台中RC表敬訪問

〈予 算〉 2,000,000円



## 財団関連活動委員会



委員長 早田 良二

財団活動委員会は、前年度に引き続きロータリー財団、米山記念奨学会への支援と地区の寄付目標を達成するように努めます。

ロータリー財団は地区補助金の活用を最大限に生かした活動支援、および地区補助金奨学生の奨学生とカウンセラーを支援します。

本委員会の活動・目標達成には会員の皆様のご理解とご協力が必要です。積極的なご指導、ご支援を宜しくお願い致します。



### ● ロータリー財団担当



リーダー  
渡邊 直樹



副リーダー  
中畝 将博

|         |                  |
|---------|------------------|
| 【リーダー】  | 渡邊 直樹            |
| 【副リーダー】 | 中畝 将博            |
| 【委員】    | 廣谷 洲枝      衣笠 准一 |

### 〈方針〉

1. ロータリー財団に関する会員の理解を深める。
2. ロータリー財団の活動に協力する。
3. 各種補助金の活用の実施・検討を行う。

### 〈計画〉

#### 1 について

- ① ロータリー財団月間に卓話を実施する。

目的、仕組み、役割、活動の内容や実績などを紹介する。

#### 2 について

- ① ポリオプラスについて目標（30ドル／人）を達成する。

100万ドルの食事を年8回程度行う。

- ② 年次基金について目標（150ドル／人）を達成する。

ポールハリスフェロー、マルチプルハリスフェローへの寄付につき、7人以上の会員に協力をお願いする。

- ③ 恒久基金につき目標（ベネファクター1人／クラブ、又は、1000ドル以上／クラブ）を達成する。

ベネファクター就任につき、1人以上の会員に協力を依頼する。

④ロータリーカードの普及に努める。

会員への呼びかけを行う。

3 について

①地区補助金の活用

奉仕プロジェクト委員会（社会奉仕担当）と連携し、広島赤十字・原爆病院への車椅子の寄付に関し、地区補助金の申請を行う。

②グローバル補助金の活用についての調査・検討

グローバル補助金について調査し、活用可能性を検討する。

〈予 算〉 100,000円



● 米山記念奨学会担当



リーダー  
田中 貴



副リーダー  
中脇 令子

|         |       |       |
|---------|-------|-------|
| 【リーダー】  | 田中 貴  |       |
| 【副リーダー】 | 中脇 令子 |       |
| 【委員】    | 土肥 雪彦 | 久行 康夫 |

〈方 針〉

会長方針「今を大切に、未来を探ろう」に従い、広島東南ロータリークラブで受け継がれてきた、米山記念奨学会事業を継承する。留学・研究に励む留学生とクラブ全体で積極的に交流・支援することで、ロータリー精神を学び、留学生の本国と日本の国際交流と相互理解を深め、平和に寄与することを目的とする。

本事業活動に対する支援を促進するとともに、本奨学会への寄付活動をお願いする。

〈計 画〉

1. 米山記念奨学会の啓蒙活動を行う。  
(10月米山月間での卓話)
2. 米山記念奨学会への寄付活動については、普通寄付金に加えて、特別寄付金について呼びかける。  
寄付目標：1人16,000円以上（100万\$年3回程度）
3. 受入奨学生受入支援
4. 世話クラブ・カウンセラーへの支援
5. 奨学生、学友との交流

〈予 算〉 10,000円

## S.A.A.



委員長 久保 和浩

例会がスムーズに進行するように会場監督に努力し、最善の例会管理を行ってまいり所存です。今年度はアフターコロナの状況で、創意工夫を図りながら、楽しい例会運営をしていきたいと思ひますので、会員皆様のご協力を宜しくお願い致します。



### ● S.A.A.支援担当



リーダー  
大下 達士



副リーダー  
中村 伸弘

|         |       |       |
|---------|-------|-------|
| 【リーダー】  | 大下 達士 |       |
| 【副リーダー】 | 中村 伸弘 |       |
| 【委員】    | 平町 隆典 | 三宅 正光 |
|         | 平岡 誠治 |       |

#### 〈方針〉

S.A.A.は例会場管理の最高の権限を持ち、最善の例会管理が遂行されるよう努力する。  
コロナ前の親密で和気藹々とした例会を遂行していく。

#### 〈計画〉

S.A.A.は例会場の管理について最高の権限を持ち、理事会の定めにより概ね以下の任務を行う。

(クラブ細則第3条7節)

- ・例会の進行に協力し卓話の時間遂行を確保する。
- ・例会場への入場や退場の許可。例会場の開門。閉門。
- ・早退、遅刻の承認や拒否。
- ・私語や立ち歩きなど、例会場の秩序を乱す行為に対する警告と退場命令。
- ・例会場の設営、テーブルの配置、座席の指定（親睦活動委員会と共に）など。
- ・食事の献立、業者の選定等食事の手配。
- ・ニコニコ箱の管理とその募金状況の報告。

〈予算〉 10,000円

## 会 計



委員長 温泉川梅代

### 〈方 針〉

会長方針に従い、各部門の委員会活動が健全運営されるように予算編成を行う。

### 〈計 画〉

1. クラブの資金活動を正確に実行する
2. クラブの収支及び財政状況を明確にするため、年2回、中間決算や見込み決算の報告書を作成する。
3. 年度内の予定外活動が発生した場合、弾力的支出を配慮する。

## 被爆樹木特別委員会



委員長 要田 昭治

### 〈方 針〉

柄会長方針「今を大切に、未来を探ろう」です。被爆樹木特別委員会の2023—2024年度の事業計画は東南RCの先人達が平和を願い核兵器を持たない、造らない、使わない、廃棄する、を思いながら自然に被爆樹木から教えられています。被爆樹木も年を取ってきました。

東南RCが取り付けた銘板160枚のフォローアップをいたします。

### 〈計 画 1〉

9月21日(木) 国連が定めた国際平和デー近辺にて広島、長崎爆心地中間地点上毛町大池公園の清掃活動を行う。

(※長崎南ロータリークラブ、豊前ロータリー、上毛町、と打ち合わせをする。インターアクトの参加を考えるので、夏休み期間が良いかもしれません。青少年奉仕担当と摺り合わせを行います。)

### 〈計 画 2〉

10月特別友好クラブ「仙台南ロータリークラブ」へ訪問予定。お月見例会出席、被爆樹木1本、植樹式。

(仙台南RCは震災遺構荒浜地区に改めて5ヶ所の広島東南RCと共同での被爆樹木植樹を行う為、地区補助金150万円決定。郡和子仙台市長出席との事。)

〈予 算〉 300,000円